

令和2年度 地方創生交付金事業効果検証<参考資料>

世界ラリー選手権日本ラウンド、東京オリ・パラを契機としたスポーツクラスター形成事業（令和2年度）

I. モータースポーツ推進経費（交流連携）

1. 推進組織の設置

令和2年11月に開催予定の世界ラリー選手権日本ラウンド「ラリージャパン」を契機に、市内の各種団体、機関等、多様な団体が連携して、モータースポーツを通じ、地域の魅力発信並びに観光及び産業の振興による地域の活性化を図る事業を円滑で効果的に実施するため、令和2年6月2日に「ラリージャパン活用推進実行委員会」を設立しました。

2. 啓発・情報発信の取り組み

(1) 展示イベント

①モータースポーツポスター展の開催

令和2年6月27日～7月5日/えなえーる

令和2年7月17日～8月19日/市役所1階休憩スペース



②ラリージャパン応援パネル展・レーシングシミュレーター体験会の開催

令和3年3月1日～14日/えなえーる



③大会主催者及び関係自治体PRイベントでの啓発

およそ1年後に控えた大会に向けて、大会主催者と関係自治体が合同で、大会開催と関係自治体を多くの皆さんに知っていただくための啓発を実施した。特産品販売・モータースポーツ関係のチラシを配布し、市の魅力発信に努めた。

令和2年11月21日・22日/

名古屋市栄：ミツコシマエヒロバス



④夏休み親子ドライブの実施

小中学校の夏休みに、市役所から根の上高原までの往復約20kmを市公用車ラッピング車でドライブする催しを実施した。

令和2年8月14日/参加3組7名



⑤ミニ四駆体験会・大会の実施

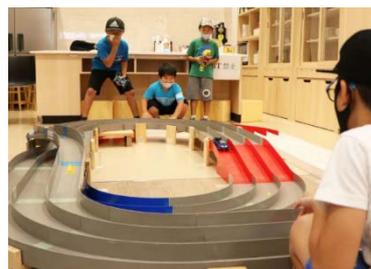
ラリーに親しんでもらうため、WRCミニ四駆の無料体験会及び大会を実施した。

令和2年9月27日/えなえーる/参加36組103名

令和2年10月18日/えなえーる/参加19組45名

令和2年12月5日/恵那まちなか市会場内/参加多数

※令和2年12月5日には、JAFによるラリーカー展示をあわせて実施した。



(2) 啓発物の製作

①ラッピング公用車の製作及び活用

市公用車（ヴィッツ）をラリー仕様にラッピングを施した。令和2年7月22日出発式、各種イベント開催時の展示のほか、公用車として活用した。



②カウントダウンパネルの製作及び活用

大会開催日までのカウントダウンパネルを作成した。市内高等学校4校、恵那市役所、えなえーるにおいて活用した。

(3) ウェブによる情報発信

①特設ホームページの作成

大会実行委員会の特設ウェブサイトを開設し、情報発信を行った。

②Facebook ページの作成

Facebook ページを開設し、情報発信を行った。

フォロワー数 225 人 (R3. 3. 1 現在)

③開催告知動画の放送

ケーブルテレビアミックスコムにて開催告知動画の放送を行った。

CATV 加入世帯 11, 162 世帯 (R3. 1. 20 現在)



(4) 映画製作への協賛及び市内撮影の実施

「ラリージャパン」の活用をはじめ、モータースポーツを活かしたまちづくりを進めるため、豊田市、メ〜テレ等と連携しモータースポーツを題材にした地域発信映画の制作を行った。

※3/11 プレス発表予定

2. 臨時的宿泊環境の整備

(1) 車中泊体験会の実施等

ラリージャパン開催時の車中泊実施に向けた実証を兼ね、WOMEN'S RALLY開催時に「車中泊体験会」を行った。また、事業者と市内の車中泊候補地の現地調査を実施し、民間所有地の管理者・地権者に向けた説明会を実施した。

【車中泊体験会】

令和2年12月5日・6日/恵那峡第四駐車場/
参加車両42台、参加者71名

【個別説明事業所】

8事業所



(2) イベントホームステイの実施調整

大会開催時のイベントホームステイの実施について事業者と打合せを実施した。

3. 恵那笠置山モーターパーク環境整備

(1) 恵那笠置山モーターパーク周辺樹木伐採事業

モータースポーツによる地域振興の拠点である、「恵那笠置山モーターパーク」について、周辺環境を改善するとともに観戦エリアを新たに設置するため、周辺樹木の伐採を行った。

伐採面積約2,500 m²/

伐採本数70本



Ⅱ. 観光資源活用事業費（交流連携）

1. スポーツに関する着地型観光コンテンツの造成

（1）ドローンに関する講演会、シンポジウム、ドローンレース全国大会の開催

①ドローンに関する講演会・シンポジウム・ドローンレース全国大会を開催

令和2年11月22日/上矢作体育館/

レース参加者30名、関係者50名、観客170名



②民間が実施する合宿旅行の造成支援

スポーツ合宿旅行を誘致し、市内のスポーツ施設や宿泊施設を生かした市外からの誘客を促進するため、旅行業者や市内の宿泊施設が行うウェブサイトやチラシの作成、旅行商品の販売などに要する経費の一部を補助する、「恵那市スポーツ合宿旅行誘致促進事業補助事業」を実施した。

補助金額：対象経費の1/2（上限10万円）/1件

（2）スポーツツーリズムの受入環境整備

①ドローンパークの整備

上矢作グラウンドをドローンパークとして活用するための室内練習兼屋外練習休憩施設を整備した。

上矢作グラウンド内/
鉄骨造平屋 26.51 m²



Ⅲ. 観光施設維持管理事業費

1. スポーツツーリズムの受入環境整備

（1）保古の湖キャンプ場におけるシャワーユニットの整備

保古の湖キャンプ場内/
コインシャワーユニット3基



令和2年度恵那中央出張所 事業実績報告<概要>

1. 恵那中央出張所の開設

恵那市は令和2年4月24日に、バロー恵那ショッピングセンター内（恵那市大井町180-1）に恵那中央出張所を開所しました。

施設を拠点に、女性活躍の推進、食に関する施策、市民サービスに関する窓口業務を総合的に展開し、将来にわたり住み続けたい地域づくりを目的としています。施設面積約70平米の中に、キッチン、フリースペース、行政窓口カウンターを設置し、施設の管理運営は恵那中央出張所運営協議会が行います。

開所時間 平日：午前10時から午後8時まで
 土日：午前9時30分から午後8時まで
 行政窓口 住民票、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本の発行
 （戸籍謄抄本の発行は平日17時15分まで）



（1）愛称の決定

恵那中央出張所が市民から親しみをもって利用してもらえるよう、愛称を募集しました。恵那中央出張所運営協議会の選考により、「えなえーる」を施設の愛称に決定し、最優秀賞（1点）優秀賞（2点）の方へは賞状と副賞（恵那の特産品）を贈呈しました。

あわせて、7月27日には愛称お披露目会を開催し、ロゴマークの発表と店舗看板の設置等を行いました。



(2) ホームページの開設、SNSによる情報発信

恵那中央出張所のホームページを開設し、施設の紹介やスタッフによるブログの他、イベントの告知と参加申込みを可能としました。また、Facebook や Instagram により、こまめな情報発信を行いました。



2. 女性活躍推進に関する取り組み

恵那市女性活躍推進計画のキャッチフレーズである「生き方と働き方を誰もが選択できるまち恵那」を実現するため、自分らしい生き方や、自分らしい働き方を見つけるきっかけづくりの取り組みを行いました。

(1) 女性の就労支援事業

恵那くらしビジネスサポートセンターや、市の担当部署と連携し、女性向けの就労セミナーや、女性の仕事と育児の両立に対する不安を軽減することを目的とした講座を開催しました。子ども連れでも参加可能とし、気軽に参加できるよう工夫しました。

〔実施事業〕

■子育て中の女性対象「再就職セミナー」

令和3年10月30日(金) 参加4名、

令和3年11月20日(金) 参加2名

(内容) ・お仕事探しの始め方を知ろう

・先輩ママとの座談会

■女性の活躍応援講座①「知ることから始めよう」

令和3年1月26日(火) 参加2名

(内容) ・保活と就活どっちが先？こども園の入園と就活について

・こども園の給食のはなし

～頑張りがすぎない、抱え込まない～

■女性の活躍応援講座②「頼れるものには頼ってヨシ」

令和3年2月26日（金） 参加3名

（内容）・病児保育一時預かり等の子育て支援の紹介、就活サポートの紹介
・頼ろう発酵のちから。発酵食の料理紹介と調理実演★

■女性の活躍応援講座③「気楽にいこう。仕事も子育ても」

令和3年3月29日（金）（予定）

（内容）・気楽に出来るおうちごはん。時短料理の紹介と調理実演★
・休日保育所の紹介、簡単な遊びの紹介

（講座の様子）



（2）地域で輝く女性の応援事業

恵那市で活躍中の女性による水墨画や写真の個展を開催し。地域で活躍する女性の姿を多くの方に知ってもらうことができました。

また、女性向けのクラフト講座も開催しました。

〔実施事業〕

- 小木曾絵美子写真展 令和2年7月8日（水）～12日（日）
- 可知凜花 水墨画展 令和2年8月8日（土）～16日（日）
- クリスマスリースを作ろう 令和2年12月5日（土）

（写真展の様子）



（水墨画展の様子）



(3) 女性のライフステージにあわせた総合支援事業

コロナ禍で、家の中で過ごす時間が増えていたため、子育て世代に向けて、親子で楽しめる遊びの動画を作成しました。YouTubeにより配信するとともに、現在も子育て支援センターなどで活用されています。

施設にパンフレット置き場と掲示板を設置し、子育て支援情報や、女性の悩み相談などの案内、婚活などのイベントチラシなどを配布しました。

また、親子で参加できるワークショップの実施、工作コーナーの設置により、誰もが施設に立ち寄りやすい雰囲気づくりに努めました。

〔実施事業〕

- 動画制作「子どもと一緒にクッキング（米粉クレープ）」5月
- 動画制作「おうちで遊ぼう・ひろちゃん先生とモコモコさん」7月
- 山岡陶業文化センターとの企画「箸置きを作ろう」
令和2年10月17日（土）参加14名
- 恵那版画の会による楽しい版画教室（1月、2月は中止）
令和2年12月12日（土）参加6名
令和3年3月28日（土）予定
- 工作ワークショップ（ハロウィン、木の実フォトフレームづくり）6月～
- 「おうちであそぼ」の作成と配布（100均の材料でおもちゃの作り方紹介）

(子育て支援動画)



(箸置きをつくろう)



(楽しい版画教室)



3.食に関する取り組み

施設内のキッチンを活用し、「食」に関連した総合的な取り組みの拠点となるよう取り組みを行いました。

(1) 食の情報発信事業、食の交流事業

コロナ禍で調理実習ができないことから、代替として料理人による料理動画、食生活改善推進員による料理動画の撮影などを行い、YouTubeでの配信を行いました。店頭での野菜の栄養に関する啓発活動なども実施されました。

また、オリンピックのポーランドカヌーチームに関連したポーランド料理の交流、豚熱に見舞われていた養豚農家を応援する豚肉PR、社会福祉協議会による食生活講座など、施設を活用して様々な角度から食への関心を深める活動が行われました。

〔実施事業〕

- 料理動画撮影（牛乳、山菜、ポーランド料理、豚肉料理など）5月～
- 料理人動画撮影（料理人、食生活改善推進員）7月～
- 野菜ファーストキャンペーン(県、市、食生活改善推進協議会)
令和2年8月30日(日)、8月31日(月)
- 「パピペポーランド」ポーランド料理紹介、交流会、
令和2年9月19日(土)～9月22日(火)
- 「恵那産豚肉復活応援PR」パネル展
令和3年2月13日(土)～2月21日(日)
- レシピの作成と配布（季節の料理、地産地消レシピなど）

(料理人動画撮影)



(食生活改善推進員動画)



(ポーランド料理交流会)



(2) 食文化の伝承事業

郷土料理の伝承の取り組みとして、「朴葉寿司プロジェクト」が発足し、朴葉寿司の歴史の伝承や、朴葉寿司の新しい広がりを模索するなどの取り組みがされました。その他、郷土菓子の「からすみ」若い世代へ伝えるため、手軽に作れるからすみレシピの作成や講座の実施などに取り組みました。

〔実施事業〕

- 朴葉寿司プロジェクト発足、令和2年5月
- 朴葉の具人気コンテスト 令和2年5月
- 手軽にできるからすみレシピの作成。令和3年3月
- からすみ講座 令和3年3月13日（土）（予定）

(朴葉寿司プロジェクト)



(からすみレシピ作成)



(3) 発酵のまちづくり事業

発酵食を利用した、みそ玉講座や塩こうじ作り講座を開催しました。コロナ対策を行いながら、塩麴は参加者が各自で仕込み、塩麴レシピを調理の実演を見てもらいました。実際に見ることで、動画とは違った良さを感じていただけるものとなりました。

〔実施事業〕

- 親子みそ玉作りワークショップ 令和2年8月16日（日）52個販売
(コロナ対策のためみそ玉キット販売へ変更)
- 塩こうじ作り講座 令和2年12月13日（日）参加9名★
- 発酵おうちごはん～塩こうじ編～ 令和3年3月19日(日)予定★

(みそ玉ワークショップ)



(塩麴講座)



4.市民サービスに関する取り組み

ショッピングセンター内という立地を生かし、便利な「行政窓口」として住民票等の発行や、行政情報の発信、臨時窓口の開設などを行いました。

また、市が主催するセミナーの開催、パネル展などによる事業啓発のほか、関係機関による相談会なども開催されました。

(1) 証明発行窓口

■証明発行（2月末までの累計）

住民票 1,192 件 印鑑証明 796 件 戸籍謄抄本 91 件 合計 2,079 件

(2) 施設を活用した行政情報の発信

〔実施事業〕

■広報インスタ写真コンテスト受賞作品展（総務課広報）6月～3月 4回

■明智光秀キャンペーン（観光交流課）6月2日～13日

■WRCポスター展（企画課）6月27日～7月5日、3月1日～3月14日

■アルツハイマー予防月間啓発（高齢福祉課）9月1日～9月13日

■ポーランドカヌーチームパネル展 9月19日～9月22日

■ミニ四駆大会（企画課）9月27日、

■マイナンバーカード普及セミナー・スマホ講座（市民課）11月26日

■人権週間展示(社会福祉課、人権擁護委員) 12月4日～12月14日

■台湾台南市との交流と展示（観光交流課）12月1日～12月28日

■麒麟がくるパネル展示（観光交流課）1月5日～1月15日

■にっこりサロン（社会福祉課・ぶらっと） 2月24日

■福祉なんでも相談（社会福祉協議会） 2月25日

■山城パネル展（観光交流課）3月15日～3月27日

■スマホSNSセミナー（総務課広報）3月26日

(3) 臨時窓口の設置

〔実施事業〕

■新型コロナウイルス給付金申請受取窓口（企画課） 5月

■マイナンバーカード申請補助（市民課） 8月5日～8月10日

■国勢調査相談窓口設置（企画課）9月14日～10月20日

(麒麟がくるパネル展示) (スマホセミナー)



(台湾台南市との交流)



ジバスクラム恵那の取組みについて

～地場スクラムを組んで、恵那らしさを追求し、稼ぐ観光都市恵那を目指す～

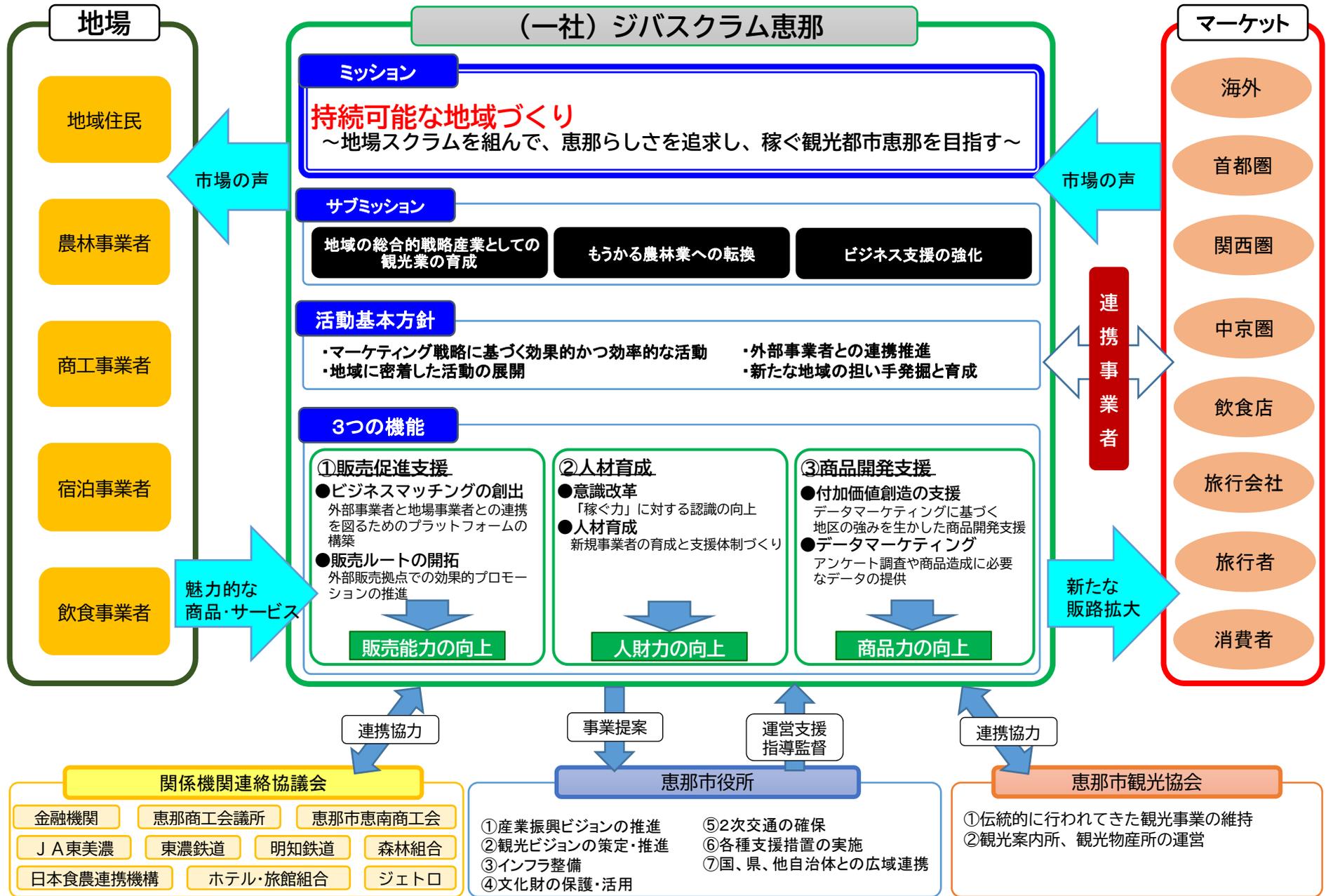


ZIVA SCRUM ENA
ジバスクラム恵那

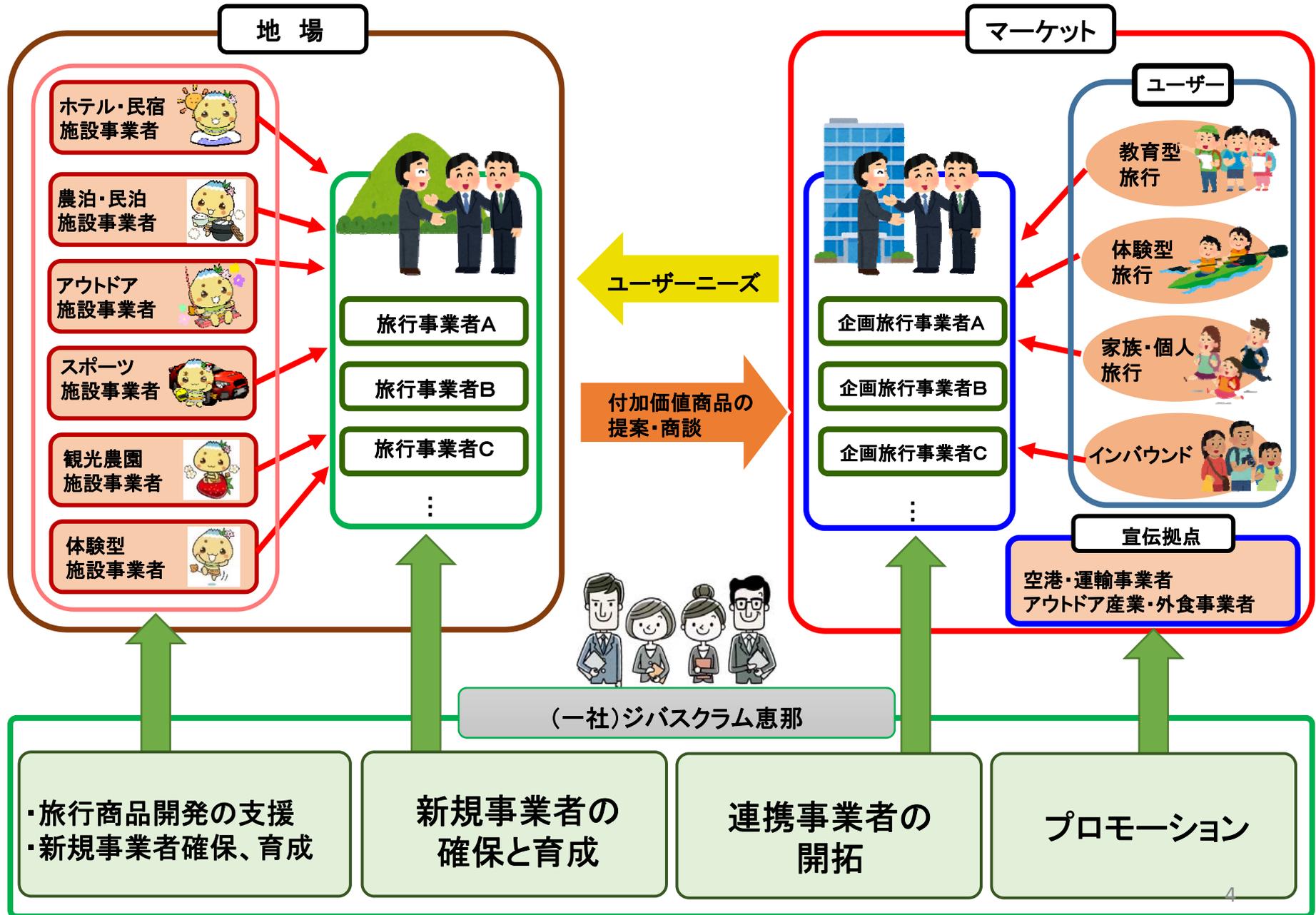
(一社) ジバスクラム恵那の概要

法人名	一般社団法人ジバスクラム恵那	
設 立	令和2年1月16日設立登記（令和2年1月31日始動）	
所在地	本社：岐阜県恵那市大井町206番地5	
電話番号	0573-32-1787	
代表者	代表理事	阿部 伸一郎（一般社団法人恵那市観光協会会長）
役 員	理事長	阿部 伸一郎（一般社団法人恵那市観光協会会長）
	副理事長	大塩 康彦（恵那市副市長）
	理事	山本 好作（恵那商工会議所 会頭）
		水野 良則（恵那市恵南商工会 会長）
		丸山 朝夫（一般社団法人恵那市観光協会副会長）
		安藤 克典（市まちづくり企画部長）
		谷口 哲也（市商工観光部長）
		林 雅樹（市農林部長）
	業務執行理事	戸取健一郎（市商工観光部調整監）
	監事	中島 豊己（十六銀行恵那支店長）
社 員 (オナー)	恵那市 一般社団法人恵那市観光協会	
執行体制	業務執行理事	戸取健一郎（市商工観光部調整監）
	事務局長（観光商工担当）	田村 猛（市商工観光部商工課出向）
	事務局次長（農林担当）	横光 哲（市農林部農政課出向）

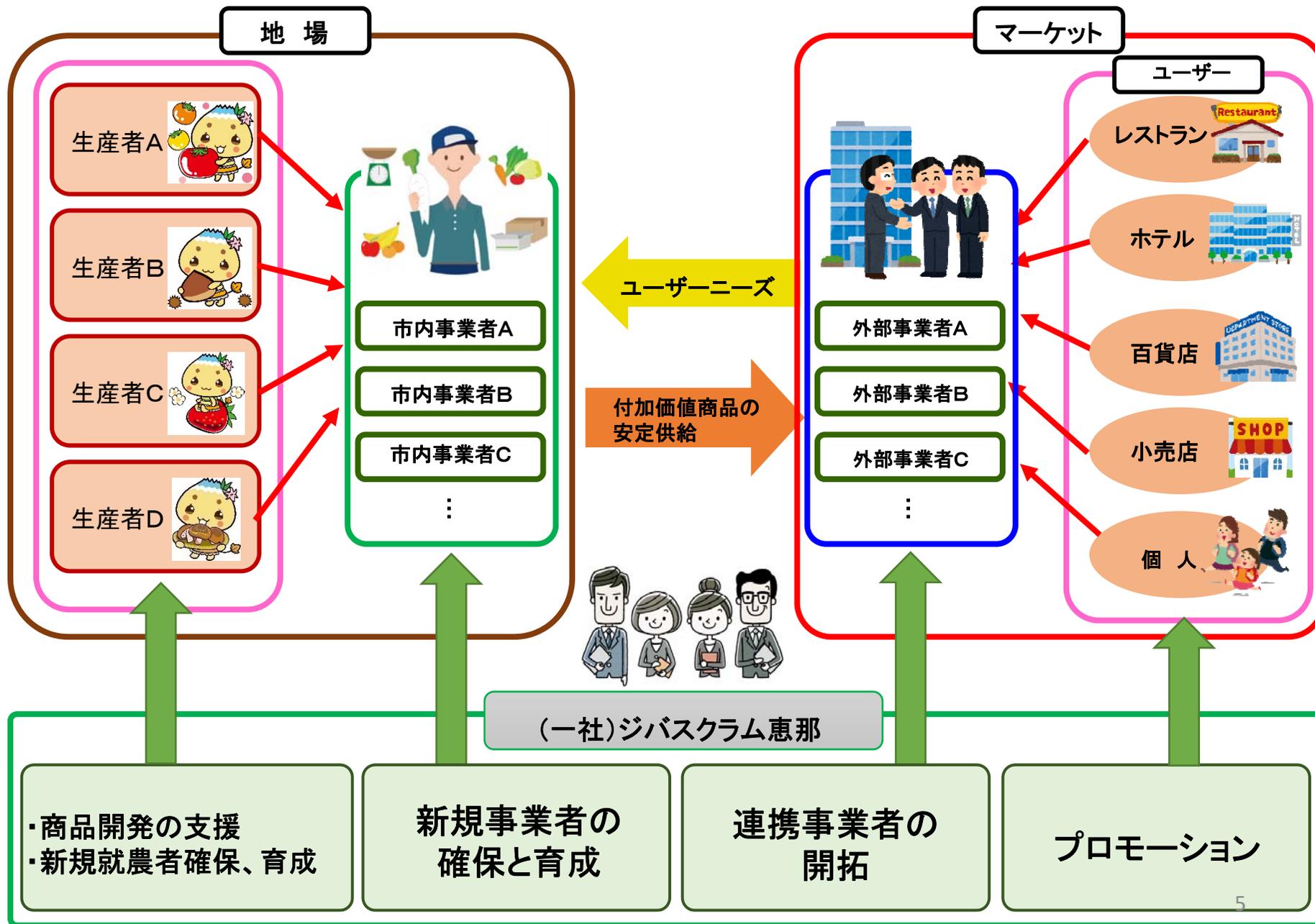
(一社) ジバスクラム恵那の機能



観光分野での取組事例



農林業分野での取組事例



主な取組み【商工・観光分野】

【ドローン企業誘致：株式会社ROBOZ】

- ・短期的には観光誘客（ドローン体験、イベント開催等）
- ・長期的にはドローン産業集積を目指す。

【新しい観光調査及び計画の策定】

- ・WITHコロナ・AFTERコロナ期の恵那市の観光
→ アウトドアを軸とした滞在型観光を目指す。

【セントレア中部国際空港との連携】

- ・恵那市PR展示（8月～10月、国内線コンコース）
- ・レンタカー活用FIT誘致促進事業への参画
→ 恵那市エリアへの将来的なインバウンド誘導

【企業研修の誘致：株式会社ICMGとの連携協定】

- ・地方における地域課題等を命題とした企業研修について、連携して実施していくことで、地域振興に寄与していく。
また、恵那市と恵那市へ研修で来訪される企業との親和性を高め、関係人口の増加に繋げていく。

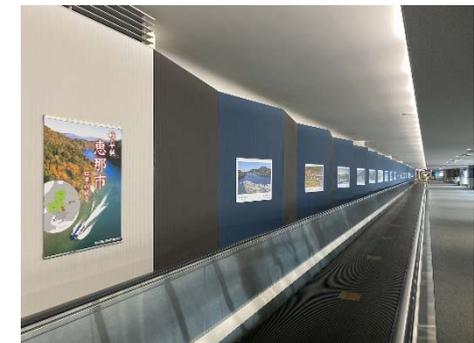


【観光ツアー造成の働きかけ】

- ・バスツアーで1000人超の予約（新型コロナウイルス感染症の流行によりキャンセル多数）



2020. 7. 24 ENA DORONE STATION



セントレア国内線コンコース展示



2020. 10. 26 ICMG連携協定締結

主な取組み【農林業分野】

【恵那山麓野菜とは】

- ・次世代の地域農業を担う若手中心のプロ農家の販路を支援することで、地産地消を推進し、美しい農ある風景を次世代の子ども達に引き継ぐスキーム作りを目的とするプロジェクト

【参画農家】

- ・現在の参画農家は14農家
- ・現在も趣旨に賛同いただける農家を募集中

【販売戦略】

- ・プロジェクトに賛同いただける購買者会員の獲得を目指す
- ・主な販売拠点
市内：えなてらす、道の駅ラ・フォーレ福寿の里上矢作ふくろう市場
市外：湯の華市場（可児市）、セブンイレブン中津川駅前店、青二才（東京都）、ニッコースタイル名古屋（名古屋市）アクティブ・ギア（東京都）
直売：ネット販売、マルシェ等への出店（恵那峡SA・たべとるマルシェ（市内）・ニンファマルシェ（中津川）、ヒビホド（中津川）、AOZOLAKITCHEN（明智）

【課題】

- ・プロジェクトに共感いただける参画農家の獲得
- ・購買者会員の獲得



セブンイレブン中津川駅前店

今後の構想：総合サイト“アエル”

【“アエル”の役割】

- ・ ゲスト（観光客） と ホスト（観光事業者・生産者） の “**知リアエル**” や “**出アエル**” といった様々な “**アエル**” をサポートする総合サイト
- ・ 「宿泊、体験、物産」の販売とともに 情報共有 を行うことで、“**恵那ファン（関係人口）**” の積み上げを推進
- ・ 市内事業者は、予約システムの共通化や、本サイトのデータマーケティング分析を活用等のICT化による事業の効率化を推進

【“アエル”の仕組み】



2020.2.1 岐阜新聞

県内初 地域商社が始動

「ジバスクラム恵那」発足

恵那市、市東部協会の共同出資の地域商社「ジバスクラム恵那」は3日、同協会の理事会で、市東部協会の幹部1部会会長と理事らによる設立総会が開かれ、県内初の地域商社が正式に発足した。

「世界へ売り出す」
観光や農林業、事業支援

ジバスクラム恵那は、観光、農林業、事業支援を目的として、県内初の地域商社として設立された。同協会の幹部1部会会長と理事らによる設立総会が開かれ、県内初の地域商社が正式に発足した。

同協会の幹部1部会会長と理事らによる設立総会が開かれ、県内初の地域商社が正式に発足した。

2020.3.8 岐阜新聞

「稼ぐ観光都市」目指す

恵那市で「地域商社」設立

「稼ぐ観光都市」を目指す。恵那市で「地域商社」設立。観光、農林業、事業支援を目的として、県内初の地域商社として設立された。

同協会の幹部1部会会長と理事らによる設立総会が開かれ、県内初の地域商社が正式に発足した。

2020.3.29 中日新聞

ドローン先進地へさあ、浮上、

「惠那市、業者などと連携協定

ドローン先進地へさあ、浮上。惠那市、業者などと連携協定。観光、産業、教育「もっと身近に浸透図る」

協定は、ドローンの活用による観光、産業、教育の浸透を図ることを目的として、市と業者間で締結された。

2020.6.30 中日新聞

「活用し食品輸出」

恵那の業者向け 9日にセミナー

海外への販路開拓を目指す。恵那市内の食品業者らを対象に、I-Tを活用した食品輸出の方法を紹介するウェビナーが、七月九日午後三時から開かれる。

「活用し食品輸出」をテーマに、食品輸出の現状やI-Tを活用した輸出の方法について紹介するウェビナーが、七月九日午後三時から開かれる。

2020.10.22 岐阜新聞

自然薯スパゲティー滋味

恵那市の洋食店、地元農園と発案

恵那市長島町の洋食店みむらは、地元産の自然薯を使った新しい「自然薯スパゲティー」を開発した。恵那、中津川市でジネンジョを栽培する中山道じねんじょ農園と連携、滋味たっぷりの味に仕上げた。

2種類の味、太麺に絡む自信作

「自然薯スパゲティー」を開発した。恵那、中津川市でジネンジョを栽培する中山道じねんじょ農園と連携、滋味たっぷりの味に仕上げた。

2020.10.28 岐阜新聞

「恵那山麓野菜」PR

中津川市の小池さんが直売会

少量高品質ブランド化を目指す。恵那山麓野菜のPR。中津川市の小池さんが直売会。

少量高品質ブランド化を目指す。恵那山麓野菜のPR。中津川市の小池さんが直売会。

2020.10.28 岐阜新聞

小型機販売や操縦体験、講習会も

ロボッツ、ジバスクラム恵那と市

ドローン販売や操縦体験、講習会も。ロボッツ、ジバスクラム恵那と市。

ドローン販売や操縦体験、講習会も。ロボッツ、ジバスクラム恵那と市。

参考：新聞掲載記事

2020.11.17 岐阜新聞 9面



「恵那市の豊かな自然を生かし、キャンプの新たな様式(グランピング)を切り口に新しい事業を提案していきたい」と語るのは恵那市市観光協会出資の地域商社「ハスクラム恵那(恵那市大井町)」の戸取健一郎業務執行理事(58)。来年1月に市内観光事業者向けのセミナー、展示会を開き、都市圏を中心にじわじわと盛り上がるグランピングの浸透を図る。

近況 新様式のキャンプ提案

キャンプ道具一式が揃わり、おしゃれで質の高いキャンプ様式、グランピング。愛好者は消費額が比較的多く、他の産業への広がりがあるというが、恵那市には従来のキャンプ施設、事業者が少ないものの、グランピングを志す事業者はほぼない。ブランド化した野菜や肉などの地場産品を提供すれば、地域の活性化にもつながる。イノベーションを促す「ニア開通を見据え、定着させた」と構想を語る。

大手企業を対象としたコンサルタント会社との提携、ドローン関連企業の誘致など、着実に恵那市に新風を吹き込む。様々な仕掛けを作り、地域経済を活性化させたい」と話す。

第3種郵便物認可 2021.1.17(日) 岐阜新聞 29面(岐阜版)



グランピングで料理を味わう参加者＝恵那市山岡町、イワクラ公園

恵那市山岡町のイワクラ公園で、優雅なキャンプが楽しめる「グランピング」のセミナーと体験が行われ、市民らがグランピングの楽しさを実感した。(服部潤)

当初は2日間の予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大による県の非常事態宣言後、1日に短縮することを決定。感染防止のため部制で行い、市民や公共施設関係者ら4人が参加した。セミナーでは、エービィンクグランピングアンドアウトドアーズの吉村司最前執行責任者(COO)が「岐阜の富良野から始まり、クラマラス(魅力的な)キャンプ

恵那市でグランピング体験



セミナーでグランピングの楽しさを学ぶ参加者一同

グランピングの魅力を伝えるセミナーと体験が行われ、市民らがグランピングの楽しさを実感した。(服部潤)

グランピングは「自然と食、優雅に満喫」と評判。開闢した施設やゴルフ場の敷地内で楽しむことができ、遊休地活用で地域貢献もできると語った。

体験では、数分所に分かれて料理を試食。参加者は恵那鶏のスープやイチゴのグラタンなどに舌鼓を打った。中津川市から訪れた中村ゆかりさん(82)は「鹿見島の弟からグランピングを聞き、SNS(会員制交流サイト)で今回の行事を知り参加した。コロナ禍の中で、自然を満喫して料理に向き合えることが最高」と笑顔で話した。

自然と食、優雅に満喫

手軽な豪華キャンプ 注目

恵那 観光業者らグランピング体験会

豪華で快適なキャンプ「グランピング」の体験会が十四日、恵那市山岡町のイワクラ公園で開かれ、市内の観光業者ら五十余人が新たなアウトドアレジャー



グランピング体験を楽しむ参加者ら＝恵那市山岡町のイワクラ公園で

の魅力に触れた。グランピング施設の開発を手掛けるABCグランピング&アウトドアーズ(大阪)の最高執行責任者、吉村司さんがグランピングの

概要を説明。国内各地で関連施設の開設が相次いでいる現状を示し、「コロナ禍でアウトドアへの関心が高まる中、気軽に自然体験が楽しめるレジャーとしてグランピングが注目を集めている」と指摘した。

テントや日よけが設置された会場では、地元産の鶏肉や豚肉、野菜、果物などを用いたグランピング用の献立が用意され、参加者たちは専用のグリルで温めるなどして試食を楽しんだ。

参加した恵那市飯地町の飯地高原自然テント村管理入、加納ともみさん(82)は「従来のキャンプ愛好者とは異なる客層の新規開拓につながるはず」と話した。グランピングは「クラマラス(魅力的な)」と「キ

ヤンピング(野営地)」を組み合わせた造語。テントの設置や食事の用意などが不要で、手軽なレジャーとして人気を集めている。市と地域商社ジバスクラム恵那は今後、市内観光業者らによるグランピング施設の開設などを支援していく方針。(長谷部正)

1月15日(金曜日) 17日(木曜日) 中 乗

地方創生交付金事業の事業効果検証<参考資料>

武将と歴史街道を核とした広域観光推進プロジェクト事業

1. 歴史資源を活用した観光誘客

岐阜県、中津川市、可児市、恵那市で構成する東美濃歴史街道協議会「東美濃の山城」推進部会で事業を実施。

【情報発信事業】

内 容：お城E X P Oへの出展、「東美濃の山城」ポスターの製作
パンフレットの増刷、広告掲載（ぴあ、Kelly等）

●お城E X P O 2020 への出展

令和2年12月18日～20日
開催場所：パシフィコ横浜



●「東美濃の山城」ポスターの製作

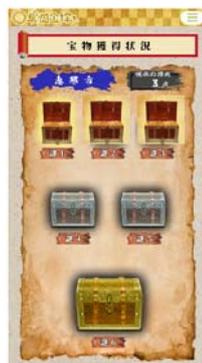


【周遊滞在促進事業】

内 容：スマートフォンを活用し、宝探しを行いながら岐阜の宝物である岩村城跡・苗木城跡・美濃金山城跡や周辺観光地を巡る、『戦国トレジャーハント～東美濃の山城に隠された真実～』の実施

●戦国トレジャーハント～東美濃の山城に隠された真実～

令和2年12月8日～令和3年3月14日



2. 大河ドラマ「麒麟がくる」を活用した観光誘客

岐阜県と県内の明智光秀ゆかりの地を有する8市町で構成する、岐阜県大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会で事業を実施。

【PRイベント】

内 容：本能寺での岐阜県明智光秀ゆかりの地PRの開催

●岐阜県×本能寺 光秀と信長—天下布武の道—

令和2年9月12日、13日京都府本能寺



【周遊滞在促進事業】

内 容：戦国宝探し in 岐阜、岐阜のお城カードめぐりの周遊企画の実施

●戦国宝探し in 岐阜

令和2年8月1日～11月30日



●岐阜のお城カードめぐり

令和2年12月18日～令和3年2月14日



【情報発信事業】

内 容：広告掲載、特集新聞の発行

●広告掲載



●新聞の発行

